

愛知県立刈谷工業高等学校 生徒会

人力発電機の製作～若いエネルギーを電気エネルギーに～

運動部が筋力トレーニングの練習に励む動力を活かして、発電機を製作することを試みた。筋力トレーニングから発電機につなげるため、エアロバイク式の器具を作成した。3台完成。多くの部活動が使用し、発電機については正門に電光掲示板を製作し行事等で文字を流すようにした。



中部大学第一高等学校 ESD部

にっしんCOOL CHOICEプロジェクト

愛知県日進市と連携し、小学生家庭を対象に環境配慮行動である「COOL CHOICE」の体験的普及を図っている。ワークショップやオリジナルのボードゲームを実施し、地球温暖化の解決について考えた。子ども会大会などのイベントでは千人以上の小学生と交流し、意見交換を行った。



名古屋市立名古屋商業高等学校 商品開発研究班

葦から“Zoo” Flight

川辺や干潟に広がる葦の群落。葦の持つ「水質浄化作用」と「生物多様性の維持」に着目し、環境保全活動とビジネス活動を連動させる活動を実施。葦を原材料とした「小型のポーチ」や「うちわ」の商品を完成させた。海外からの旅行者への「クール・ジャパン」の土産物として開発した。



名古屋経済大学高蔵高等学校 理科部

ボランティアから始まった環境保護活動

毎月第1日曜日、山崎川の街路樹を守る清掃ボランティア活動を行った。前もって仕掛けておいたカメを捕獲する亀ワナやたも網で、山崎川の生物を捕獲して、生物相の調査と外来生物の駆除を行った。ミシシッピアカミミガメが激減し成果が現れた。日本カメ会議で結果を発表した。

愛知県立木曽川高等学校

総合実務部

国の天然記念物 木曽川のイタセンパラを地域の宝に！～私たちにできることは何か？～

絶滅危惧種であるイタセンパラは、飼育したり繁殖させたりすることはできない。そこで、環境省の許可をもらい、イタセンパラの校内飼育と展示を始めた。また、生息地のワンド周辺の除草・清掃をし、国土交通省主催のイタセンパラが産卵をするイシガイの調査に参加した。



愛知県立佐屋高等学校

文鳥プロジェクトチーム

命をつなぐ！弥富の手乗り文鳥よ再び！

生産農家が残り2軒となってしまった弥富文鳥文化を守る後継者として、繁殖・産卵に向けた取組、手乗り文鳥の育成、ひなの譲り渡しなどの活動している。本校の「文鳥の命をつなぐプロジェクト」で繁殖した手乗り文鳥を、再び弥富市で販売し、文鳥文化の復活を目指していく。



近畿 25団体



滋賀県立八日市南高等学校

花緑デザイン科 ランドスケープデザイン班

猪子山～高校生コーディネートによる里山保全活動の12年～

小学校と「猪子山森林再生」事業、二五八祭・滋賀けんせつみらいフェスタ・農業祭での本校の環境保全活動に関する啓発活動、東近江市尻無町「水源の森」の環境保全活動と小水力発電に関する共同研究(高校間連携)活動などを行っている。今後も地域の依頼に応えていきたい。



滋賀県立守山中学校・高等学校

SGH課題研究 ホタルチーム

守山ホタル再生プロジェクト

ホタルが飛び交う風景を市街地で復活させる活動をしている。対象地の吉川川で、ホタルの幼虫を放流してその飛翔数を観察した。幼虫に適した環境作りを行い、整備が有効である可能性と3匹のホタルの飛翔が確認された。今まで飛翔が確認されていなかった市街地で大きな成果を得た。



京都府立木津高等学校

生徒会

毎月15日は地域クリーン活動だ

毎月15日、木津駅前で地元の方と生徒会合同で総勢200名余りで駅前クリーン活動に取り組む。木津川市の玄関である駅前をきれいにしようと、地元商店、地域の方々、駅を利用する方が集まり協議会が発足。本校生徒会も参加し、早朝、ポイ捨てゴミを拾う活動を続けている。

京都府立桂高等学校

第3研究群「地球を守る新技術の開発」研究班

植物の隠れた能力を引き出す!!～未利用資源MAPを活用した新技術の開発～

下水処理時に発生する未利用資源のリン酸マグネシウムアンモニウム(MAP)を肥料として活用することを発案。現在、芝の緑地やムギ栽培の実証試験を行っている。肥料の削減、生産性と品質向上させる研究として、土壤環境の改善や食料自給率の向上に繋がる研究として取り組んでいる。

